

東高久遺跡 平安時代
 平安時代、会津郡の下の区割だった郷の一つ「多具郷」の遺跡です。多具が高久に変化。

神指町かいわい

「神指(こうし)」の地名由来
 平安時代、陸奥国府多賀城から来た秦氏が僧に出会い、香る木のところに社を建てるように指を差したので「香指」が「神指」に変化しました。



中野竹子奮戦地
 戊辰戦争で女性の隊として知られる娘子軍は、20数名いたとされますが、正式に認められた隊ではありませんでした。1868年8月23日、若松城下の川原町大橋に集合したのは6人です。照姫様が会津坂下に行ったとのうわさを聞いて会津坂下に行きました。しかし照姫様は城内にいたのです。8月25日、午後4時頃、旧幕府衝鋒隊200名の最後について城を目指し進撃しました。真っ暗な夜9時過ぎ、娘子軍は、田の中を通る越後街道を南の柳橋へと進んだ時に戦いとなります。約30分間戦い、中野竹子が銃弾に倒れて即死しました。妹優子が首切り、会津坂下町の法界寺に墓が造られました。

高久宿 江戸時代
 高久組の代官所が置かれ、戊辰戦争では会津藩の拠点となり、娘子軍も立寄りました。

高瀬の大木(ケヤキ) 国指定天然記念物
 神指城二ノ丸土塁、北東角(鬼門)に位置します。目通り幹囲は約12メートル、樹齢は、500年以上とされ神指城築城以前からありました。築城時、すでに大木だったため、この木を基点に夜、北極星を基準として提灯で土塁や堀の土木測量をしました。



基盤整備前の神指城土塁
 高瀬の大木
 神指城本丸
 神指城の石引道

キリシタン塚、刑場跡 江戸時代
 国道252号東側にあります。キリシタン60余人が処刑された場所。農協倉庫の裏にある刑場跡には供養碑が建っています。



中野竹子殉節之地
 江戸時代の刑場跡
 キリシタン塚
 柳橋
 酒槽
 天満神社
 天満中四合

柳橋 江戸時代・会津戦争
 この橋は、1600年の神指城築城の時、石垣を運ぶために柳の木で橋を作ったことに由来します。1868年の戊辰戦争では、8月25日、大垣藩と長州藩が橋のたもとに陣を構え、北の会津坂下方面から城下入ろうとした会津藩と合戦となりました。

新選組受難の地 会津戦争
 1868年、9月4までは、如来堂地には旧幕府軍の衝鋒(しょうほう)隊、古屋作左衛門の陣所がありました。9月5日早朝、会津に残った斎藤一を隊長とする新選組13人は、霧の中、若松方面のから約500人で薩摩藩らの会津坂下進攻に偶然遭遇し攻められます。斎藤一ら数名は高田に逃げ、南会津で戦い、若松城開城後、9月26日には塩川へ送られます。斎藤一は、一ノ瀬伝八の名で新潟県上越に送られます。残りは、水戸諸生隊に属し10月6日、千葉県銚子で捕えられています。



酒槽(さかからね) 江戸時代
 1600年、神指城築城の時、直江兼統が築城人足に、酒を若松城から小型の舟で運び、この地で飲ませていました。

帽子丸の墓 平安時代末
 平安時代の末、源義経と皆鶴姫18歳との間に出来た子、帽子丸3歳が、京から来た追っ手に捕まり、帽子沼で亡くなります。

幕内 鎌倉時代
 幕内は、元、会津若松市門田町にあり、佐原十郎義連が平泉の藤原征伐後に立寄り幕を置いた場所。洪水で2回移転しました。

飯寺城跡 戦国時代
 会津オリンパスの地には、南北朝時代に築かれた飯寺城跡がありました。城は本丸と二ノ丸に分かれ、城内にあった稲荷神社が今でも残されています。

